

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2015 January

01

Vol.582

03 【特集】 福岡県 広報情報化交流会

自分たちの情報発信は自分たちの手で

06 21世紀型 自立型企业づくり

創業の思いに立ち返る

～社長が変わらなければ会社は変わらない～

株式会社 大匠建設

10 自社商品・サービス紹介

12 1月行事案内

14 月刊同友に関するアンケート

14 第7回 理事会報告

09 外形標準課税適用拡大等の反対署名運動

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだし Report

21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.06掲載)



株式会社 大匠建設
代表取締役
井上 真一 氏 (博多支部)

大匠建設の井上社長は入会3年ですが、確か同友会入会に至るまで、1年位かかったでしょうか。しっかり、自分の目で確かめて入会されました。それから経営指針勉強会や共同求人勉強会に熱心に参加され、どんどん変わっていかれました。井上さんの魅力の一つは素直さです。いいと思ったことはすぐに取り入れ、社員さんを導いておられます。仕事は天然素材の木を使った木造建築ですが、木の香りに癒され、木に触れることにより優しさを感じます。工場では、技術機能検定が行われ、社員の方々がお互いに研鑽されています。若い女性が「私、職人です!」と胸を張って答えてくれたのには、本当に感動しました。家では5人お子さんのお父さん。家族のためだから頑張ってきた!これからも素敵な笑顔で益々ご活躍されることと思います。

記事: 日高 恵美子氏 (博多支部)

今月の表紙

撮影: 間々田 正行
(メディアイス/福博支部)



田主丸の若竹屋酒造場は今、新酒の仕込みの真っ最中。14代目として蔵を率いる林田浩暢さんは作業に携わる一方、営業面や経営面で社長としての仕事もこなし、一年で最も忙しい日々を送ります。「日本酒は、食べる・飲むという人の喜びの根幹にある飲み物。一日の疲れを癒してくれる飲み物でもあります。そんな幸せを届ける酒をこれからも造っていきたいですね」。蔵は

先々、長男が受け継ぐ予定。林田さんはその日を15年後と定め、その間にやるべきことの方針づくりに余念がありません。蔵を譲った後は、プロデューサーとして15代目の酒造りをバックアップしながら、田主丸の活性化に貢献したいと考えています。「日本の将来にとって田主丸のような里山は失くしてはならない。日本人の心の風景ですから。そのことに少しでも力添えできたらと思っています」



蔵内にある食事処・和らく野。ミシュランで紹介され、多くの人でにぎわいます



1699年に建てられた元蔵蔵内は販売所になっています



米を蒸し、それを冷まして麹を振りかける昔ながらの工程で仕込みが行われます

「私の逸品」日本酒

合資会社 若竹屋酒造場

久留米市田主丸町田主丸706 電話0943-72-2175

<http://www.wakatakeya.com>

社長 **林田 浩暢** 氏 (りょうちく支部)

自分たちの情報発信は自分たちの手で

すでにご存知の通り、福岡同友会では月刊同友の小刻みなりニューアル、ホームページの全面リニューアルが手がけられています。月刊同友は会員参加型の紙面づくりをテーマに会員のみなさんが手に取りたくなる、読みたくなる、読んでためになる紙面づくりを目指しています。これは昨年開催された広報情報化交流会の事前アンケートに基づいて実施されています。一方、ホームページは二〇一四年五月にグランドオープンを果たし、各支部、各委員会の活動を適時アップできる環境を整えました。今回のテーマはこれらのツールを会員のみなさんが主体的に活用していただくことで同友会の発信力を高め会の魅力を会の内外に伝えることとなります。今こそ情報の受け手から発信側となり企業づくり、地域づくり、同友会づくりに取り組んで参りましょう。

京都同友会の事例報告より

2014広報情報化交流会

「自分たちの情報発信は自分たちの手で」

■ 日時:2014年11月8日(土)

■ 場所:ウェルレンタル会議室



報告

多くの会員による 機関誌づくりをめざして

報告者

小泉 浩氏

(有)小都里 代表取締役 (京都同友会 広報委員長)

素人です。

京都同友会は会員数一五〇〇名です。私は同友会歴七年で、広報委員長を担当して五年になります。京都では委員会登録して、三年目に委員長になったわけです。広報に関してはズブの素人でした。原稿なんか書いたこともないし、それまでろくにパソコンも触ったことがありませんでした。四〇〇字の原稿を作るのに二時間も掛っていましたが、「何を書いているのかわからない」といわれる始末でした。なんと広報委員長になったかといえば、ちゃんと出席していたからだっただけです。同友会は恥をかける場所だと思っています。

オタクの集団

私が入ったころの広報委員会は「オタク」の集まりでした。九五%が機関誌づくりに費やされています。その頃は隔月発行で、結構練



菅原 弘 氏 (福岡同友会 広報情報推進本部 広報部長)

りこまれていたと思います。練習の時間があったからです。一ヶ月目は編集会議。二ヶ月目は紙媒体の持つ発信力とは・・・なんて話をしていたんです。専門用語ばかりでした。だいたいの広報委員はこれで出席しなくなります。登録数が三〇名でも一〇名くらいになつてしまいます。少なければ少ないなりに「あ・うんの呼吸」でまた進んでいくんです。新しい会員に気遣いはありませんでした。原稿は自分たちで書いてもらっていました。

広報委員会での学び

発信の手法を学びました。会の全体が見られます。支部のつなが

りが見られます。事務局との関係もわかるようになりました。

中同協での学びもあります。「同友会の中でパッケージ商品として会員に届けられるのは機関誌しかない」「機関誌は会員を勇気づけ、励ますことができる」ということです。同友会の理念はどこに行っても一緒です。だからこうして今日も福岡で一緒に同友会について語る事ができます。

広報委員長になって

私が広報委員長になって、機関誌を月刊化したいという考えがありました。それには他の委員会や支部との連携がなければいけないと考えました。委員会行脚を始めた。どんな活動をしているんだろうと訪ねてみました。しかし私が行くと「原稿依頼されると困るな」という感じでした。

しかし「会員に委員会活動を理解してもらうため、アピールしていきましょ」と顔を合わせて言えば理解してもらえらるものです。そこで大事なことは「同友会活動を自社経営と関連づける」という考え方でした。

委員長同士が調整をしてくれました。政策委員会では地域において自分ができること。地域と関わる

にはどうすればいいかということ。組織委員会は会社における組織力とは。広報委員会では、社長の発信力は・・・というように。さらに「文章の書き方講座」を開きました。

こうして同友会活動を自社経営に関連付けて行きました。これが同友会です。初めて出席した方も学びになるからと、次回も出席するようになっています。二〇支部で三〇名だったのが二年目には六〇名になり、委員会には常時四〇名が参加するようになりました。数が増えるのはチャンスです。予算もいただいで、機関誌は月刊になりました。ホームページも作りっぱなしだったのをリニューアルしていききました。

機関誌「京都同友」が月刊になったことで変化が見られました。

まず例会です。各支部の例会案内をするコーナーの締め切りが早くなったので、各支部が取り組みを一ヶ月早めるようになりました。テーマ・報告者も早めに決まると、より充実した例会にするために、「プレ例会」を行うようになりました。例会が練りこまれ充実していききました。

広報に興味を持っていただくようになり読まれる比率も高くなっていききました。意見を言うてくださる方もいます。ありがたいことです。

最後に

広報が一番同友会を知っています。一番楽しいはず。情報がたくさん集まっています。改善できるのは広報の力です。「個」の力を『会』に集めていきます。中同協という『情報創造』に取り組みなければなりません。同友会理念はどこでも共通です。一人ぼっちを感じない会だと思えます。

福岡同友会の取り組み

月刊同友の取り組み

小泉さんの報告の中で「機関誌は唯一同友会から届けられるパッケージ商品である」、「機関誌は会員を勇気づけ、励ますことができ」という言葉に勇気づけられました。

機関誌の本来の使命は、同友会用語の解説ではなく、「人を生かす経営を実践している会員さんを具体的に広報していくことだ」と学びました。

機関誌づくりは多くの会員を巻



齋藤 純 氏(福岡同友会 広報情報化推進本部 情報部長)

き込むこと。そして機関誌を使い倒すほどに利用していただくことをめざしていきたいと思いました。

現状と課題

福岡同友会広報部の課題として、参加人数が少ないことがありました。「同友会活動を自社経営に関連づける」ということが活動のヒントになります。広報情報化推進本部では広報戦略講座として平成二十七年に入り、「プレスリリースの仕方」「SEO対策と利用法」「ウェブマーケティングによるホームページ、セールスビデオの制作」を開催する予定です。さらに会員の輪を広げていきたいと考えております。

対外広報

福岡同友会は、対外広報を重要視し、報道部を設置しています。年四回の景況調査に合わせた記者発表、年三回のマスコミ関係者の記者および部長クラスとの懇談会で、同友会理念を軸としながら会員企業の実情や企業での取り組み事例を定期的に発信しています。時には、消費税増税に関しての緊急アンケートの結果発表を行うなど、情勢に対する中小企業家の生の声をタイムリーに、広く社会に届けるよう活動をしています。

中同協の広報情報化交流会の学びと今後の展望

同友会の広報は情報を伝える活動であり、会員の生の声を集約して情報を創造し、発信していくことです。ツールの問題ではなく、産官学報の連携をしっかりとっていくことが鍵になり、同友会がプロデュース機能を発揮することが大切であり、人間的な信頼関係を築くことが重要です。地域の隅々まで同友会の存在を知っていただき、同友会型の強靱な企業づくりを進めていきたいと思います。

(記事 貞池 龍彦、菅原 弘)

広報勉強会開催のご案内

～自分たちの活動を自分たちの手で伝えていくために～
勉強会テーマ 中小企業ならではの広報戦略

第1回 2月20日(金)

プレスリリースする前に ～マスコミへ発信する時に大切なこと～
田原 勝 氏 源匠PR(有) 代表取締役 (中央支部)

第2回 3月20日(金)

ブログを書いてホームページへ集客する方法
村本 俊和 氏 (有)タイム 代表取締役 (南支部)

第3回 4月17日(金)

ウェブマーケティングによるホームページ、セールスビデオの制作
吉田 伸太郎 氏 ビデオネットラボ 代表者 (福博支部)

- 時間 18:30～20:30
- 会場 同友会会議室(博多区吉塚本町9番15号 中小企業振興センタービル11F)
- 会費 500円(各回毎)
- 定員 50名(先着順になります。また、今回は会員向けの勉強会となります。)

詳細が決まりましたら、
あらためて
皆様にご案内致します。

創業の思いに立ち返る

社長が変わらなければ会社は変わらない

窮地に追い込まれて自分を見失いそうになったとき、ある一言が大きな気づきをもたらしてくれました。『家業』から『企業』への変貌を取材しました。



だいしょうけんせつ
株式会社 大匠建設

代表取締役

いのうえ しんいち
井上 真一 氏

博多支部

創業 1995年2月
住所 筑紫郡那珂川町恵子1-18
電話 092-953-3063
社員 22名
http://dai-sho.net
木造の新築・改装・マンションリフォーム・オリジナル家具製作・設計・施工



社名の由来

社名の由来は「大工の匠(すぐれた技術者)」。先代である父親の敬一さんは、西日本屈指の職人でした。数寄屋造りや茶室などの物件はマスコミで度々紹介されています。井上さんはお兄さんとともに父親の下で修行していました。しかし、次男ということでも「自分の食い扶持は自分で稼いで来い」と後を継ぐのではなく、独立を促されていました。「今思うとそれがよかったですと思います。父は、腕は良かったのですが経営者としては失格でした。倒産していますから」と苦笑いしながら話してくれました。

平成3年に父が壮絶な闘病の末他界しました。「多額の借金を残し大変でした」と振り返ります。

平成7年有限会社大匠建設を設

取材 広報部
文章 菅原 弘(東支部)
写真 富谷正弘(玄海支部)



株大匠建設 外観



株大匠建設の職人さんたち

創業の思い

立させました。大工4人でのスタートです。

井上さんは常々こう考えていました。「大工の職人としての地位を

上げたい」、「生活を安定させたい」、「若手を育成したい」。修行の時から強く感じていたことは、銀行からの信用はないこと、集金日がバラバラで収入が安定しないこと、老後の生活も心配しなければならぬこと、さらには、せっかくの技術も継承が行われていないことなどでした。独立の時はとにかく会社組織でスタートしたのもその表れでした。

仕事は増えるが…

仕事は順調に始動していき、初年度で1億2千万円の売上を計上し、2年目には自社ビルを購入しました。しかし、初めての決算はどうしていいかわかりませんでした。大手ゼネコンの下請け・孫請けで大きな物件を手掛けていき、仕事はますます忙しくなっていました。営業・施工・経理・資金繰り・支払い・段取り…すべて取り仕切っていたのは井上さんでした。会社は組織として体をなしていません。職人同士のトラブルがあったり、ギャンブルに走る者も出てきたりしました。経理だけは人に任せただけのもの、所詮素人でした。

仕事が増えていくにつれて職人も増やしていき、また仕事を取ってきました。一方、若手は仕事を覚えると辞めていくという悪循環が

繰り返されていきます。

そんな中、バブルが弾けて住宅需要も冷え込んでしまいました。ライバル社は単価を下げ始めました。大匠建設は、技術が良かったので、引き合いは減りませんでしたが、受注確保のために価格を妥協せざるを得なくなりました。売上の中心は手間（人件費）ですから、売上は上がっていても利益は圧迫されていくのでした。

そこで講じた策は、自社工場を購入・職人の社員化・仕入先の見直しでした。これは早く・安く提供できるようにするためです。

「売上を上げなければいけない」ということばかりに気が取られ、仕事を断ることが怖かった」と述懐しています。仕事を取り続けた結果、社員は疲労困憊になり、初めて仕事を断ることにしたのです。「このことはかなり精神的にまいりました」。

そして、訪れたリーマンショックの影響で市場は一気に冷え込みました。友人から紹介された物件が引つ掛かってしまいます。売上は4割減少しました。プロに財務を見てもらって、内務調査で債務超過5000万円が明るみになりました。「初めて『債務超過』ということがわかりました」。精神的なダメージから井上さんは「うつ」になってしまったのでした。

同友会との出会い

井上さんは自分が頑張って仕事を取ってきているのに、会社がうまく回らないのは社員のせいだと考えていました。「いろんな人の話によると、どうやら大手ゼネコンは社員教育をよくやっているらしい。何かいい教育手段はないものか」と模索していました。そんな折り、知り合いから同友会を紹介され、ゲストとして『あすなる塾』に参加しました。その講義の中で大きな衝撃を受けたのです。「あなたは何のために仕事をしていますか。追い打ちをかけるように『あなたの会社の理念は何ですか』、毎年それを検証していますか」。そしてとどめは「社長が変わらなければ会社は変わりません」の一言でした。「ガッン!とやられましたね。目からウロコでした。さっそく同友会に入会して次の『あすなる塾』を申し込みました」。

『あすなる塾』で考えたこと

『あすなる塾』では改めて自社の現状を振り返ってみました。リーマンショックの影響で大きな借金を抱えてしまい、その返済のために仕事を取りに行っていました。創業の思いを見失っていました。



工房内の様子



経営理念



(株)大匠建設では大工を育成しています

「大工の地位を上げたい」「生活を安定させたい」「若手を育成したい」。そこでたどり着いた理念は次の通りです。「技を極め、継承し、共に豊かになる」。

そして自社のSWOT分析をしました。

S(自社の強み)：自社工場がある。職人は社員であり、すぐれた木工技術を備えている。

W(自社の弱み)：資本金・営業力が弱い。

O(外的チャンス)：木工事の見直し。エコに注目。リフォーム需要あり。

T(外的脅威)：少子高齢化。人口減少による住宅新築需要減少。

これらを考慮して立てた戦略は『木工事に特化した仕事を取る』でした。

社内改革

SWOT分析をした後、お客様の見直しを図ってみました。一社に大きく依存している体質を改善しました。

次に固定費の見直しです。ガソリン代が非常に多く支出していました。それを電気自動車に代えることで経費節減とともに、企業イメージアップ・社会貢献にも繋がっていききました。携帯電話やETCの利

用も見直しをしました。「社会貢献はあすなる塾で学んだことで、エコ事業は柱の一つになっています」。

顧客のチャンネルを広げ、コスト意識を高めていき、会社全体で利益意識が向上していききました。そしてついに債務超過を克服することができました。

社内アンケートを実施し、社員のモチベーション向上につなげています。就業規則を作成していききました。社員教育も実施していききました。社員の参加が可能であれば同友会例会や委員会にも送り込んでいきます。大匠建設技能検定と称して、社員の技術向上を目的として技を競い合います。鉋掛^{かま}け、丸太切り、釘を使わない木工細工などが繰り広げられます。さらに大工育成塾として広く呼びかけ、大工見習いを募集し育てる活動もしています。

「実はレクリエーションも創業の時からやりたかったことです」と井上さん。慰安旅行や釣り大会、餅つき大会なども行っています。

徐々に井上さんがやっていったことを幹部や社員に任せていくようになりました。会社組織として活性化されていくのです。「まさに『家業』から『企業』になっていききました。創業の思い、そして理念の大切さを改めて痛感しました」。

強い会社をめざす

取材の最後に井上さんが考える自立型企業についてお伺いしました。

「企業は事業継承も含めて次世代に受け継いでいかなければなりません。時代に流されない。下請けに流されない。自分で作って自分で売れるような会社、そんな会社ではないでしょうか。めざすは強い会社、即ち安定していて倒産しない会社と考えています。「これからの課題として不動産業も視野に入れています。まず社宅を手掛けています。さらに土地や建売などを検討しています」と力強く締め切ってくださいました。

取材協力ありがとうございました。

編集後記：(株)大匠建設はエコ活動や環境経営を評価され、同友エコ2013大賞を受賞しました。



鉋削りに使用する道具

外形標準課税適用拡大等の反対署名運動 10万人署名に向けて

政府税制調査会は法人税減税の代替措置として、外形標準課税の

中小企業への適用を拡大するなど、中小企業向けの増税を検討しています。これらの中小企業に対する増税措置は、中小企業の声を聴かない一方的なやり方で、中小企業憲章の精神に反しています。福岡同友会では、七月より外形標準課税の中小企業への適用拡大等への反対署名運動を実施し、中小企業向けの増税に異議を申し立てる取り組みをしています。十一月理事會において、引き続き反対署名運動に取り組み、二〇一五年三月末までに一〇万人の署名を集めることを確認しました。

外形標準課税とは

中小企業が四月の消費税の引き上げ後の対応に追われている最中、急速に中小企業向けの増税策がもたらがりました。もし、外形標準課税の適用拡大等が実施されるとすれば、消費税増税に引き続く増税と、

経営の活力を削ぐ可能性があります。

外形標準課税は、従業員への給与・賞与や事務所の賃借料、支払利息、資本金などの企業規模に応じて課税される仕組みで、赤字でも課税されます。現在資本金1億円超の法人に課せられている外形標準課税が中小企業に適用拡大されれば、小さい企業や経営が苦しい企業でも払わなければならなくなり、こういった増税を容認することはできません。

私たち中小企業家は、今春の賃上げや労働条件の改善では精一杯の努力を重ねてきましたが、このような増税は景気回復の芽をつみかねません。中小企業憲章をもとにつくられた小規模企業振興基本法の趣旨とも、成長戦略とも相反するものです。

県内の衆議院選挙の立候補者に要望書を送り、外形標準課税の中小企業への適用拡大が我々中小企業にとって重要な問題であるということを認知してもらいました。

外形標準課税適用拡大等への反対署名 提出状況

	署名目標	提出人数	署名用紙	署名人数	目標達成率	8月会員数	会員活動率
東	10800	54	396	3248	30.1%	230	23.48%
福博	5250	26	50	352	6.7%	107	24.30%
博多	7950	32	174	1390	17.5%	151	21.19%
中央	7850	33	183	1085	13.8%	152	21.71%
西	4250	38	128	970	22.8%	83	45.78%
南	7700	32	357	2929	38.0%	151	21.19%
筑紫	4650	20	147	1201	25.8%	87	22.99%
福友	13850	87	441	3326	24.0%	286	30.42%
青年	4750	21	66	403	8.5%	86	24.42%
玄海	4950	17	95	860	17.4%	107	15.89%
かすや	2550	31	319	2557	100.3%	51	60.78%
糸島	1400	9	37	308	22.0%	34	26.47%
北九州	6500	85	862	7183	110.5%	154	55.19%
ひびき	3500	55	582	4967	141.9%	55	100.00%
筑豊	2250	20	326	2498	111.0%	48	41.67%
嘉飯	3400	26	133	1013	29.8%	77	33.77%
久留米	4300	17	78	654	15.2%	79	21.52%
大牟田	2450	15	81	632	25.8%	49	30.61%
有明	1600	6	65	531	33.2%	27	22.22%
りょうちく	1200	16	37	268	22.3%	23	69.57%
その他		47	88	425			
合計	101150	687	4645	36800	36.4%	2037	31.42%

目標達成!

目標達成!

目標達成!

目標達成!

2014/12/16現在 会員活動数(提出人数) 640名
会員活動率 31.42%

反対署名運動の広がりに一人一人の声かけから
ひびき支部の取り組み

七月から署名運動を始め、十二月十六日現在で三六八〇〇名分の署名が集まりました。

ひびき支部では、支部役員全員

が協力して署名を呼びかけ、ひびき支部所属の全会員が署名用紙を提出しました。

自社商品・サービス紹介 ①

社会問題解決型 不動産再生事業《ビンテージビル創育プロジェクト》

当社の業務は「空室賃貸ビルの経営改善を達成しながら、まちの活性化をはかる」。これまでにない新たな事業です。

まず、隠れた魅力を持つ空室賃貸ビルとそのまちに光を当て、そこが好きな入居者が集まる施策を打ちます。それにより空室に入居を促進し、不動産オーナーの経営改善を成功させます。

そのうえで、オーナーと入居者と我々の三者による時間をかけた場のコミュニティ育成で、人のつながりで物件の価値を高めます。それにより、まちの価値まで高めうる《ビンテージビル》へと建物を育てる、社会を巻き込んだ不動産再生の経営コンサルティング事業です。

そのきっかけとなる、吉原住宅(有)は創業49年、経年賃貸ビルの経営会社です。2000年より、老朽化した自社物件4棟の経営難がきっかけで事業再生に取り組み始めました。まずは、宅建業を取り独自の不動産仲介手法を開発しました。それは、これまでなかったレトロな部屋やリノベーション空間を求める入居者市場を開拓しえたことから始まります。そのうえで、不動産再生の企画提案チームやデザインチーム、工事管理チーム、コミュニティ型不動産管理チーム、ソーシャルプロモーションチームなどの社内でのプロの養成により、一社一貫したコンセプトで再生に対応するしくみが、不動産オーナーの評価を受け始めました。

2008年、経営に苦勞する多くの不動産オーナーの要望を受け、ビルを1棟単位で経営再生する「ビンテージビル創育」の不動産経営コンサルティング会社、(株)スペースRデザインを創業しました。現在まで、福岡市内を中心に17棟(269室)を再生しています。

私たちが生み出す賃貸ビルは、次の6つの流れで育てます。①場の活気を生み出す独自の再生企画により、そのビルに共感し、発信力のある人たちの入居を生み出す ②そのため、人のつながりに溢れたビルになり、人気が高まる ③そうして、空室減少、賃料向上でビル経営が安定する ④やがて、入居者によるビルとまちの価値向上により、オーナーはビルの長期維持のための大規模改修や耐震補強などの投資が可能となる ⑤その結果、長期に経営が安定しブランディングされた「ビンテージビル」になる ⑥1棟が成功すると、その近隣でのビル再生が可能となり、エリアの活性化も起こしえる。

これまでの成果として、「福岡市ステップアップ事業」最優秀賞受賞。築56年「冷泉荘」の都市景観賞受賞。また国土交通省の「地方都市における遊休不動産の利活用促進調査」で、民間住宅分野4先進事例の一つに選ばれました。さらに、築46年「山王マンション」のリノベーション作品が米国「Architizer」の住宅インテリア部門審査員賞を受賞するなど、古い建物の再生活用の全国的なパイオニアの一人として10年以上培ってきた実績が、ようやく社会に認められてきたようです。



福岡市内ビンテージビルMAP

てきたようです。

このように再生事業を広めることで、日本の社会問題となってしまった空き家問題を解決していきます。それに伴う都市の衰退問題に対応できる社員育成と技術開発と実績を培うことが、当社の理念であり事業です。

現在、この“ビンテージビルでまちづくり事業”を、長野県長野市では同友会企業と協働事業で取り組み、大牟田市では大牟田支部所属でソーシャルビジネス委員会所属の富山博史氏・村田仁氏とともに「大牟田ビンテージのまち株式会社」を組成し、衰退した中心市街地活性化事業を進めるなど、当社のビジネスモデルが各都市で進行中です。



代表取締役 吉原 勝己 氏
(南支部・ソーシャルビジネス委員会所属)

吉原住宅 有限会社

株式会社 スペースRデザイン

福岡市中央区大名2-8-18 天神パークビル

福岡市中央区大名2-8-18 天神パークビル

☎092-721-5530

☎092-720-2122

自社商品・サービス紹介②

博多・中洲のクラブ、ガールズバー、バー、ラーメンを ゼーンぶ楽しんで1万円ぽっきり!

接待や「中洲ごぶさた」
という方にもおすすめ

「中洲はしご酒パック」 株式会社福一不動産

博多・中洲といえば九州最大の歓楽街。クラブやスナック、バーなど、約3500軒ものお店があります。地元の方はもとより、全国から福岡へ出張に来られる方のオアシスになっているのですが、行きつけの店がない場合、困るのがお店選び。勘定で揉めずに安心して飲みたいからです。

そこで中洲の仲介業務に特化した弊社では安心して楽しんでいただけるよう、なんと1万円ぽっきりでクラブかキャバクラ、ガールズバー、バー、そしてメのラーメンまで楽しめる「中洲はしご酒パック」というサービスを始めました。

どういった内容かというと、まず20時30分までに弊社指定のクラブかキャバクラに入店していただき、ホステスさんと60分間、お酒や会話を楽しんでいただきます。その後、2軒目のガールズバーに21時45分までに入店。こちらでも女の子と60分間、お酒や会話を楽しんでいただき、3軒目にバーでお店おすすめのドリンクを一杯、選んでいただき、落ち着いた時間を過ごしていただきます。そして4軒目はラーメンでお腹を満たしていただくというもの。

さらにこのパックでは、1軒目から4軒目まで2店舗ずつお店を用意。好みでどちらかをチョイスできるようにしています。しかもクラブとキャバクラ、ガールズバーはあらかじめお店側が用意している飲み物が飲み放題。1軒目の女性の飲み物も、お店が用意した飲み物だったらパック料金込みにしていますし、ガールズバーのうち1店舗はカラオケ歌い放題。もう財布を気にすることはありません。

なお、お店によって滞在時間が決まっていたり、金曜日(繁忙日のため)と日曜日(店休のため)が利用できない、パックを使つての入店人数に限りがあるなど、ちょっとしたルールがあります。また、事前にチケットを購入するシステムで、[セブンイレブン](#)のマルチコピー機を使って購入するか、インターネットで予約後、[セブンイレブン](#)か[チケットぴあ](#)で購入していただきます。

詳しくは「中洲はしご酒パック」のウェブサイト
<http://www.enakasu.com>をご覧くださいか、
福一不動産までお問い合わせください。

QRコードを読み取りで「中洲はしご酒パック」動画も
御視聴いただけます。



株式会社 福一不動産

<http://www.2912103.co.jp>

〒812-0026 福岡市博多区上川端町4-221

☎092-291-2103



13 日 16:00~18:00

ソーシャルビジネス委員会
1月勉強会

子育て問題の解決がビジネスになった!

■ 天神パークビル会議室 福岡市中央区大名2-8-18 ☎092-721-5530
 ■ 福井 正樹 氏 NPO法人 KIRALI(キラリ) 代表理事
 ~10年後の社会問題を自社の事業で解決していこう!~
 1月は子育て事業を通じて「イクメン、イクボスの啓発・推進・養成」
 「ワークライフバランスの推進」「男女共同参画の推進」などに取り組ん
 でいる福井さんの報告です。

22 日 18:00~21:00

第116回 新会員
フォローアップセミナー

■ 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
 福岡県中小企業振興センタービル11階 ☎092-686-1234

22 日 18:30~21:00

りょうちく支部
1月例会

自分が変わり、組織が変わった。 ~同友会で得た学びを取り入れて実践 自社と地域の未来を拓く~

■ 筑後川温泉ふくせんか うきは市浮羽町古川1099-8 ☎0943-77-3131
 ■ 前田 雅史 氏 株式会社お掃除でつくるやさしい未来 代表取締役(中央支部)
 自分の組織が持ちたいと、一部上場企業のサラリーマンを脱サラし、建
 設会社の清掃部門で修業後に独立するが、営業も清掃も自分でやって
 売上げがあがりません。そんな時に、修業先から清掃部門を買わないか
 と打診があり、チャンスとばかり購入します。ところがそこから苦悩と
 困難の連続で、それをどう打破して行ったのか...異業種でも参考にな
 る、沢山のヒントがあります。

22 日 18:30~21:00

久留米支部
1月例会

融資のポイント ~金融機関からの視点で~

■ 萃香園ホテル 久留米市榎原町87 ☎0942-35-5351
 ■ 湊 隆弘 氏 日本政策金融公庫 久留米支店 融資課長
 事業を展開する上で資金は必ず必要となります。その資金を調達する
 ための金融機関を相手にした交渉は、そのまま自らの事業を整備する
 機会でもあります。金融機関に提出する経営計画書や決算関係書類に
 何が要求されるかを理解することで、具体性・客観性のある事業計画作
 成のためのポイントを把握できるようになるといえます。今回、事業戦
 略構築のヒントを提供できるものになりたいと思います。

26 日 19:00~20:30
(委員会18:30~19:00)

国際交流委員会
1月勉強会

大きく激変する中国の“今”を語る ~今、中国で何が起ころうとしているのか!~

■ エヌピーエス(株) 福岡市博多区奈久屋町5-10 ☎092-263-8833
 ■ 張 旭偉 氏 中国江蘇省鎮江市 外事弁公室 副室長
 先日中国北京でのAPEC首脳会議においては、日中関係に好転の兆しが見
 られました。中小企業経営者にとってもアジア、とりわけ中国の動向を理解
 することは、経営に重要であることは言うまでもありません。
 張氏は、日本をはじめとした海外企業と現地企業のマッチングに長年従事さ
 れており、現地企業の声、大きく変わりゆく中国の今を語っていただきます。

中小企業と税に関する特別勉強会 「これでいいのか、日本の税制!!」

講師 立教大学経済学部 教授
山口 義行 氏



日 時: 2015年1月15日(木) 17:00~19:00

会 場: 福岡県中小企業振興センター 301号室
(福岡市博多区吉塚本町9-15 3階)

参加費: 無料

26 日 18:30~21:00

経営労働委員会 労務管理部
人事・労務の基礎知識セミナー

『女性の雇用管理/育児・介護休業制度と性差別の禁止/ 年少者の雇用管理』

■ 社会保険労務士法人 COMMITMENT
 福岡市中央区高砂1-5-15 ☎092-791-2056
 ■ 森 正二郎 氏 社会保険労務士事務所 所長(博多支部)

人を生かす経営において、社員が意欲を持って仕事に臨み能力を発揮
 できる仕組みを作ること、また、労働条件の最低基準を少なくとも守る
 ことは大切です。労使関係を常に安定的に保ち、働く人が仕事と生活を
 調和させながら安心して働くことができるように、啓蒙していくため
 のセミナーです。また、就業規則を変更したいが、どのようにしたら良
 いか困っている会員の方もどうぞご参加下さい。

27 日 18:30~21:00

企業連携推進委員会
FAST1月例会

『持続可能な社会づくりと産学官連携』 ~エネルギーシフトと産学連携の取り組み~

■ 福岡県中小企業振興センタービル3階 302号会議室
 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
 ■ 平田 美穂 氏 中小企業家同友会全国協議会 事務局長

中小企業の仕事づくりと地域活性化、省エネと地域のエネルギー循環、
 国内の豊かな資源を活用したエネルギーシフトと食糧自給率の向上。
 急激に進む高齢化、少子化、過疎化、小規模零細企業の減少のなかで、果
 敢に挑戦している全国の仲間たちの産学連携、産学官連携、先進事例報
 告です。

29 日 18:30~20:00

地球環境問題委員会
1月勉強会

PM2.5の過去・現在と将来の対策は? ~新たな環境ビジネス分野の可能性を探る~

■ 福岡県中小企業振興センタービル4階 403会議室
 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
 ■ 鶴野 伊津志 氏 九州大学応用力学研究所 主幹教授

PM2.5の正体とその測定方法は? 発生源は何か? どこから飛来してい
 るのか? さらに、福岡県に飛来しているPM2.5の主な発生地域とその
 対策など、最新の研究成果や東アジア地域の気候循環のメカニズムに
 ついても講義して頂きます。

あすなろ塾開催のご案内

「あすなろ塾」は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日
 セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成
 を目標に参加していただきます。

【福岡会場】

1月17日(土) 9:30~18:00

電気ビル7号会議室 (福岡市中央区渡辺通2-1-82 ☎092-781-0681)
 (参加費2,000円(※昼食代含む) 会員外:3,500円(※昼食代・書籍代含む))

福岡同友会では、地域経済を支えている中小企業への増税はますます地
 域を衰退させ、なにより中小企業憲章や小規模企業振興基本法の理念に
 真っ向から反しているとして、外形標準課税適用拡大等への反対署名活
 動に取り組んでいます。取り組みを進める中で、税制のあり方そのもの
 をしっかり学び、抜本的に税のあり方を論議する場が必要となりました。
 そもそも、日本の法人税は高いのか? 応能負担の原則にそって公平
 に負担が行われる税制になっているのか? 私たちは同友会らしい黒字
 企業をめざし、雇用と納税の責任を果たしていこうと考えています。だ
 からこそ、公平な税制のあり方を学びたいと考えています。
 今回、立教大学の山口先生を迎えての特別勉強会を企画しました。年始
 早々の時期ですが、多くの会員の皆さんにご参加いただき、共に中小企
 業と税について学び、考えましょう。

2015年新春講演会・新年祝賀会のご案内

14 水 17:30 受付
18:00 開会

北九州地区 2015年新年祝賀会

社員と共に働き、共に育つ企業づくり ～働くことで幸せを得ることができる～

■ リーガロイヤルホテル小倉 北九州市小倉北区浅野2-14-2 ☎093-531-1121

■ 比嘉 糸み子 氏 有限会社やんばるライフ 専務取締役 (沖縄同友会 相談役)

『障がい者のA君の発言に大きな衝撃を受けました。「企業のみなさん。僕を雇ってください！企業で働かせてください。僕は企業で働いて、お母さんを楽にさせたいんです。』（報告者 比嘉糸み子氏談）

法政大学大学院坂本教授の著書「幸せな職場のつくり方」に掲載された沖縄同友会の比嘉さんにご報告いただきます。会社訪問の際、従業員のみなさんに素敵な笑顔でお迎えしていただき、障がいを持った方々がいきいきとした笑顔で楽しそうに働く姿はすごく素敵でした。私たち経営者は企業を通して地域とつながり、仕事を通して人間形成する場を提供する責任があることを痛切に感じました。社員さんと共に働き育つ企業をめざしましょう。

■ 記念講演会 18:00～19:50 参加費 無料 ■ 賀詞交換会 20:00～21:30 参加費 6,000円

20 火 18:00～21:00

福岡地区 2015年新春講演会

「あなたの会社を変える かたづけの極意」～負のスパイラルを幸福のスパイラルに逆回転させる“ある技術”をお伝えします～

■ 少年科学文化会館ホール 福岡市中央区舞鶴2-5-27 ☎092-771-8861

■ 小松 易 氏 スッキリ・ラボ 代表

「止まっているモノすら自分で管理できない人間が、動いているモノ、すなわち経済社会の流れや顧客の心理を扱えるはずがない」と、ある経営者が言ったそうです。みなさんは忙しさを理由に身の回りの片づけを先送りしていませんか？身の回りを“スッキリ”片づけて、きっちりと管理しましょう。新たな1年のスタートは身の回りの片づけから。ぜひ「よい会社」づくりのヒントを持ち帰ってください。

23 金 18:00～
(賀詞交換会20:00～)

筑豊地区 2015年新年祝賀会

いま、経営者がなすべき重要な仕事

■ のがみプレジデントホテル 福岡県飯塚市新立岩12-37 ☎0948-22-3840

■ 尾崎 宏 氏 元 松下電工株式会社 施設照明事業部長
パナソニックエコソリューションズ創研株式会社 特別講師
ユーテングループHD株式会社 取締役

世界を代表するパナソニック(元松下電工)製造工場を牽引した尾崎宏氏。日本のものづくりを現場で改善してきた尾崎氏は何を見ていたのか？違いは何なのか？照明の設計から始まり、技術者→班長→工場長→開発部長→事業部長→社長へと、現場・リーダー・経営者の3つの視点からはっきり見えていることは？戦うときにはグループで戦う。部下とともに戦う。そうしたらいろんなことに勝てた！スーパーマンはたくさんいる。しかし、スーパーマンの部下は育たない。口や頭で考えるので仕事はできるが、結局は育っていない。スーパーマンは必要ない。組織で戦うのだ！

27 火 講演会 18:00～20:00
懇親会 20:15～21:30

有明支部・大牟田支部合同 2015年新春講演会

お客様に選ばれる店づくり ～自社の強みをいかし大手に勝つ～

■ オームタガーデンホテル 福岡県大牟田市旭町3-3-3 ☎0944-51-1111

■ 松岡 義一 氏 株式会社スーパーまるまつ 会長
■ 松岡 尚志 氏 株式会社スーパーまるまつ 代表取締役社長

(株)スーパーまるまつは、1968年に小売店を食品スーパーに転換して以来、46年間地域の台所を支えています。競合ひしめく流通業界の中で一店舗で独自のサービスに徹し、お客様に支持されています。

■ 参加費 講演会のみ:会員無料/会員外1,000円 講演会&懇親会:5,000円

Q6:情報提供や投稿にご協力いただけますか？

- ・協力する
- ・可能なことであれば。
- ・依頼があればOK
- ・経営幹部の立場なので、経営者になれば可能です。

Q7:ご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい。

- ・各地や各委員会などで行われている活動のポイントや成果を事務局に集めて編集するのが良いと思います。
- ・充実に向けての取り組み、ご苦勞様です。
- ・もう少し枚数を増やして欲しい、予算があるでしょうけど。
- ・同友会の取り組みに対して、会員の生の声を拾って紹介をする。例えば地域振興条例であるとか、外形標準課税適用拡大の取り組みであるとか。
- ・予算の関係でページ数が限られているので、予算を増やし、内容充実を目指されては如何でしょうか？
- ・1. 支部ごとか地区ごとに広報モニターを設け、その地域の元気な会員企業の紹介、独自商品の紹介、イベントなどを紹介する広報コーナーを設ける。このとき、紹介する企業の売り込みの宣伝的なことにならないようにし会員に役に立つような観点で紹介するのがポイント 2. 会員企業の入社3年未満の若い社員にその会社の良いところと楽しく頑張っている一言を顔写真入りの200文字程度で継続的に掲載したらどうでしょうか。各支部ごとに回していく。社員を巻き込んだ広報にしていくのがねらい。
- ・印刷発行をやめて、ネット発信等 経費削減対策を行うか、読んで無い会員が多ければ、廃刊にするべきと思う。支部への経費を多くした方が会員増につながると思います。
- ・同友会会員様で、一定の成果が出ている企業様に共通する要因は何か調査してみるのも面白いのではないのでしょうか？一定の成果とは、①従業員一人当たりの経常利益が業界平均の2倍以上出ている・・・規模を追求するのではなく、中身を充実することが大事だから。②

従業員一人当たりの自己資本額が業界平均の2倍以上出ている・・・自己資本比率にできなかったのは、最近の会員様の70%以上が資本をあまり使わないサービス業が多いからです。成功者を研究して、それを広く皆様に伝えていくことが、同友会の役目でもあるかと思えます。当然、業績が良い会社は、労使見解への理解があつて、経営指針書を継続して作成されている方が多いのではないかと推察されますが、それ以外に共通するものがあるのではないかと思います。求人や共育、新製品開発、海外進出など その視点で、各委員会の紹介をされると、委員会への参加者が増えるのではないのでしょうか？

- ・毎月、楽しみに読んでいます。ありがとうございます。
- ・特にまだ入会したばかりではありません。

Q8:10月号について感想をお聞かせ下さい。

(参考になった記事など)

- ・北川長官を迎えての勉強会は告知、報告も含め、憲章本部とよく打合せをして会内外への発信をするべきでした。また、報告では実際参加をした会員さんの声、他団体の方にもインタビューをしておくべきでした。反省をしています。
- ・「21世紀型自立型企業づくり」などは自社経営に参考になる内容が多くあります。毎回楽しく読んでいます。
- ・「おいしい!! 同友会」で、魅力をもっと取り上げて欲しい。感想ではありませんが、西支部では、役員会で三役が交代で、「月刊同友」と「中小企業家しんぶん」を読んだ感想を発表してもらっています。
- ・福岡市誕生の裏話がおもしろかった。
- ・21世紀型自立型企業づくり、二代目は事業の系統化を図った。
- ・西富社長の記事は参考になった。同友会での学びの実践が勉強になった。
- ・「おいしい!! 同友会」「あすなろ塾」や「経営指針二泊三日セミナー」にも、ぜひ取材にお越しく下さい。おいしい!!!
- ・表紙の草木まんじゅうが印象的でした。

2014年度 第7回理事会報告

- 日時:2014年11月26日(水) 15:00~18:00
- 出席:41名(欠席12名) 出席率77.4%

- 会場:福岡県中小企業振興センター 202会議室
- 議長:貞池副代表理事

承認・確認されたこと

- 1 次年度の経営者フォーラム成功に向けて課題を確認した。
- 2 外形標準課税適用拡大等への反対署名活動を2014年度末まで続け、目標達成することを確認。併せて税制についての勉強会を企画実施することとした。
- 3 総括と方針骨子を12月理事会で検討し、最終的に1月末の現新理事研修会で確認することを確認。
- 4 仲間づくりについて1月末を中間目標達成日と位置づけ、目標達成に向けて意識して取り組むことを確認。
- 5 2015年度地区三役の役員候補者を承認。(福岡地区以外)
- 6 一般社団法人の会員資格を確認。(2名)
- 7 除籍1名承認。

報告事項

- 1 会員企業の動き

- 経営革新計画承認 2件(県25社、累計で県全体4,436件、会員企業は356件)
- 2 会員企業の表彰5件が報告された。
- 3 事務局関係報告
井上悠事務局員(12/10付け退職)

対外関係

名義後援3件、連携・依頼関係1件、資料配布・案内1件の報告があった。

※ 理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2014年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

〈訃報〉

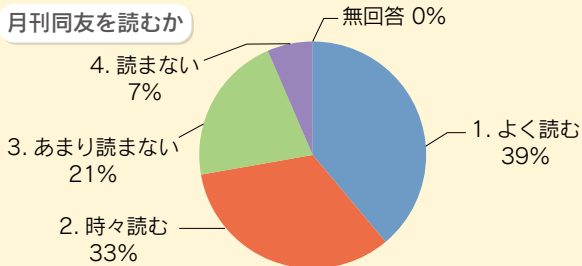
福友支部所属の中嶋 三順氏(㈱秋山工業 代表取締役)が10月29日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

2014年度 月刊同友に関するアンケート

実施期間:2014年10月15日(水)~11月4日(火) 回答数:107名(回答率5.4%)

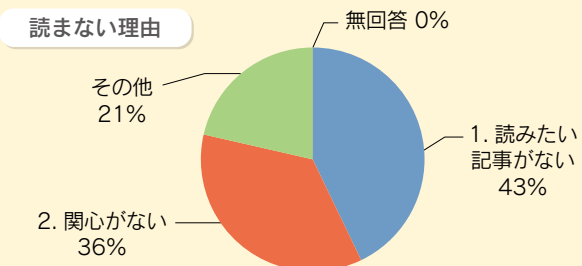
Q1:月刊同友を読みますか?

項目	回答数	構成比
1. よく読む	42	38.9%
2. 時々読む	36	33.3%
3. あまり読まない	23	21.3%
4. 読まない	7	6.5%
無回答	0	0.0%
合計	108	100.0%



Q2:Q1で3,4読まないと答えた方 その理由は?

項目	回答数	構成比
1. 読みたい記事がない	12	42.9%
2. 関心がない	10	35.7%
その他	6	21.4%
無回答	0	0.0%
合計	28	100.0%

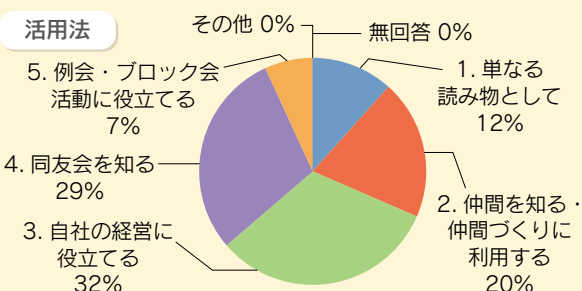


その他

- ぱらぱらと一通りは見るが、詳しく読むのは関心のある記事だけ
- 落ち着いて読む時間の余裕がない、時間を割くほど引き付ける記事ではない

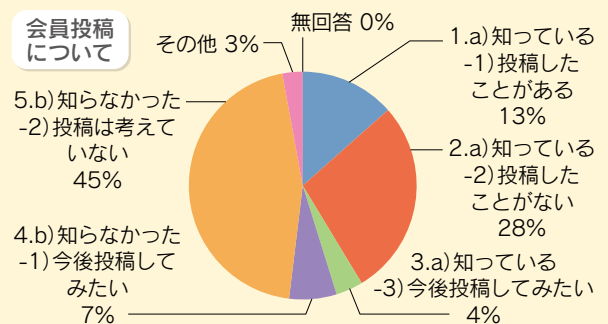
Q3:Q1で1,2読むと答えた方 どのように活用しますか?

項目	回答数	構成比
1. 単なる読み物として	17	11.6%
2. 仲間を知る・仲間づくりに利用する	29	19.9%
3. 自社の経営に役立てる	47	32.2%
4. 同友会を知る	43	29.5%
5. 例会・ブロック会活動に役立てる	10	6.8%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	146	100.0%



Q4:現在、月刊同友では会員投稿を呼び掛けていますが、投稿したことがありますか?

項目	回答数	構成比
1.a) 知っている -1) 投稿したことがある	14	13.5%
2.a) 知っている -2) 投稿したことがない	29	27.9%
3.a) 知っている -3) 今後投稿してみたい	4	3.8%
4.b) 知らなかった -1) 今後投稿してみたい	7	6.7%
5.b) 知らなかった -2) 投稿は考えていない	47	45.2%
その他	3	2.9%
無回答	0	0.0%
合計	104	100.0%



その他

- 頼まれて書いたことはある

Q5:取り扱って欲しい内容・記事は何ですか?

項目	回答数	構成比
1. 同友会理念の解説	16	4.4%
2. 県関連	14	3.8%
3. 地区・支部活動紹介や地区・支部・ブロックニュース	39	10.7%
4. 委員会活動紹介・委員会ニュース	39	10.7%
5. 会員紹介	30	8.2%
6. 地域紹介	14	3.8%
7. 経営指針書	26	7.1%
8. 事業承継	21	5.8%
9. 人材育成(人づくり)	38	10.4%
10. 地域づくり(振興条例等)	14	3.8%
11. 労務関係(就業規則等)	18	4.9%
12. 財務関係(税について等)	23	6.3%
13. 中小企業への国の支援関係	25	6.9%
14. 企業変革支援プログラムの活用	21	5.8%
15. おすすめの映画・本紹介	7	1.9%
16. 趣味探訪	7	1.9%
17. 私のペット	4	1.1%
18. 4コマ漫画	3	0.8%
19. 川柳	3	0.8%
その他	2	0.5%
無回答	0	0.0%
合計	364	100.0%

その他

- 産業振興や人事・採用などに関する助成など
- 会員が入会していることで得た経営に関する恩恵や成功事例



会員からの

自由投稿!

このコーナーでは、会員のみさんから寄せられた記事をご紹介します。

わが家・社のペット

我が社のアイドル "ジジ"

アジア商事有限会社 長野 裕之氏(有明支部)



8月に我が家に突然迷い込んできた子猫です。真っ黒でしたので「ジジ」と名付けました。

ちょっとおてんばですが、人懐こいかわいい我が社のアイドルです。



パピーウォーカー

株式会社ココスイメージ 富谷 正弘氏(玄海支部)



2012年6月から2013年6月までの1年間、「パピーウォーカー」を体験いたしました。犬種「ラブラドル・レトリバー」名前はレイチェル、生後60日のメスが我が家にやってきました。

盲導犬候補の仔犬を育てる飼育ボランティアを「パピーウォーカー」と呼びます。「パピーウォーカー」を直訳すると、「パピー」は「仔犬」、「ウォーカー」は「歩く人」という意味です。つまり、「仔犬と歩く人」という意味になります。

盲導犬は、さまざまな環境の中で、目の見えない人の目となり、冷静な判断により安全に誘導することが求められています。ですから、仔犬のうちから、空港や天神の繁華街、ビルの中、大濠公園と一緒に外に出て、歩行訓練をいたしました。

一番大切なことは、人との信頼関係です。家族の一員として愛情深く育てました。しかし「働く犬」として人間社会のルールを守る様にしなければなりません。難しいところです。

あつという間の一年でした。「レイチェル」との生活は家族の一員として楽しく、愉快な時になりました。毎日の散歩(約4km)で歩く習慣が身に付き、健康になり「レイチェル」に感謝するところです。

別れは辛いものでしたが、妻は、今度は自分がリーダーとして頑張ると張り切っております。

<パピーウォーカーに関するお問い合わせ先>
公益財団法人 九州盲導犬協会 総合訓練センター
〒819-1122 福岡県糸島市東702-1
TEL:092-324-3169 FAX:092-324-3386

あなたの大切なペットを紹介しませんか? 自慢のお写真をお待ちしております。

ペット写真募集!

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか!

このコーナーの記事を公募いたします。テーマは自由です。川柳、写真、地域の紹介、雑学...等々。みなさんの投稿をお待ちしております。

投稿方法...電子メール、郵送いずれも可。表題に「月刊同友 自由投稿コーナー」とご記載ください。

送付先...福岡県中小企業家同友会 広報情報化推進本部広報部 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

もしくは、福岡同友会事務局 旭 (s_asahi@fukuoka.doyu.jp) まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。